

三重県の女性の働き方 ～平成 29 年就業構造基本調査結果から～

平成 30 年 7 月
三重県戦略企画部統計課

生産年齢人口が減少する中、「働き方改革」の取り組みや女性、高齢者の就業を促進する政策が進められてきています。

今回は、今月 13 日に総務省から公表された「平成 29 年就業構造基本調査結果」を基に、三重県の女性の就業構造や出産・育児、介護・看護と就業の状況について分析を行っていきます。

1 就業構造の変化

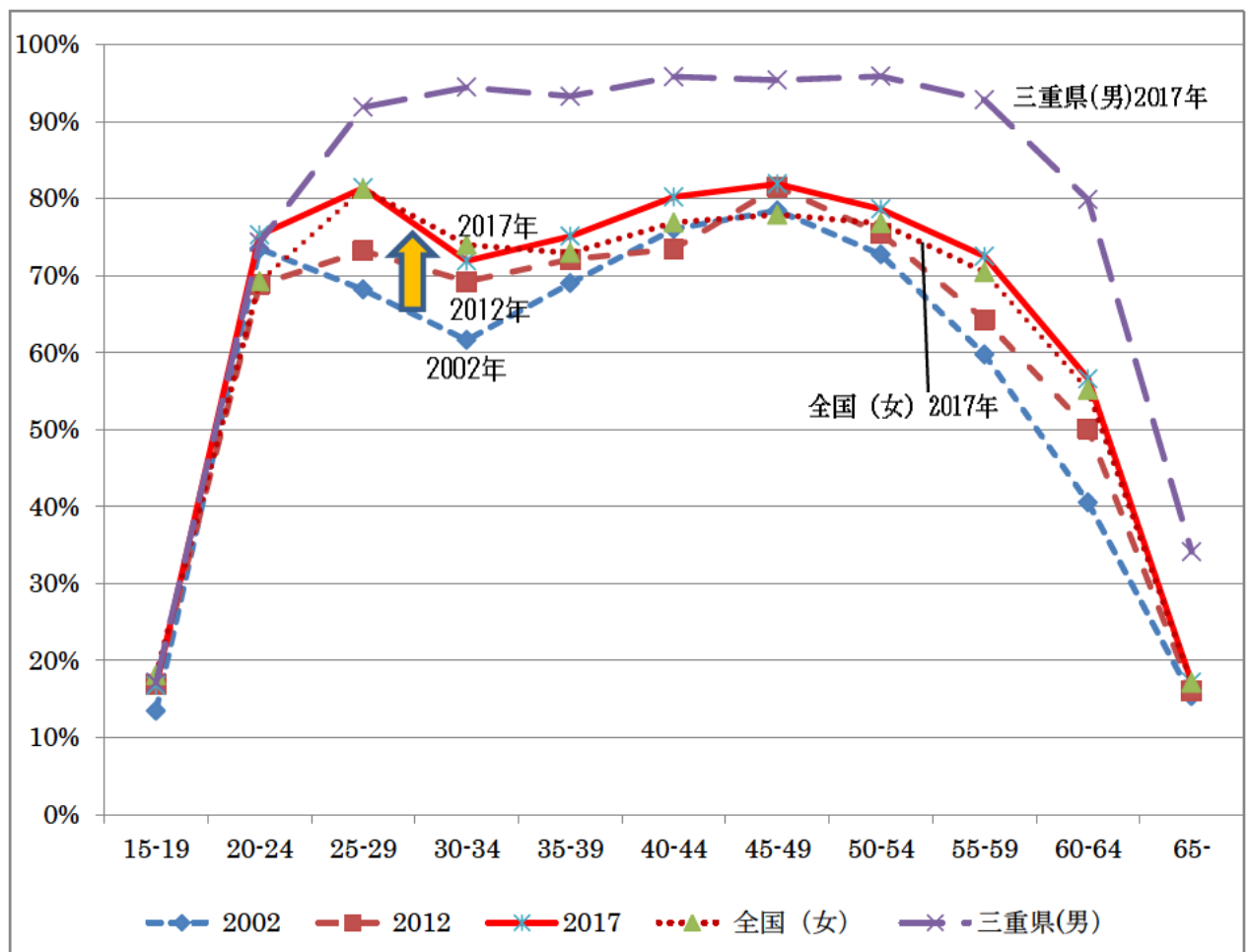
(1) 有業率

年齢階層別にみた有業率を見ると、2002 年には、いわゆる「M字カーブ」で下がっていた 25～34 歳の有業率が大きく上昇し、女性の社会進出が進んでいるのがわかります。【図 1】

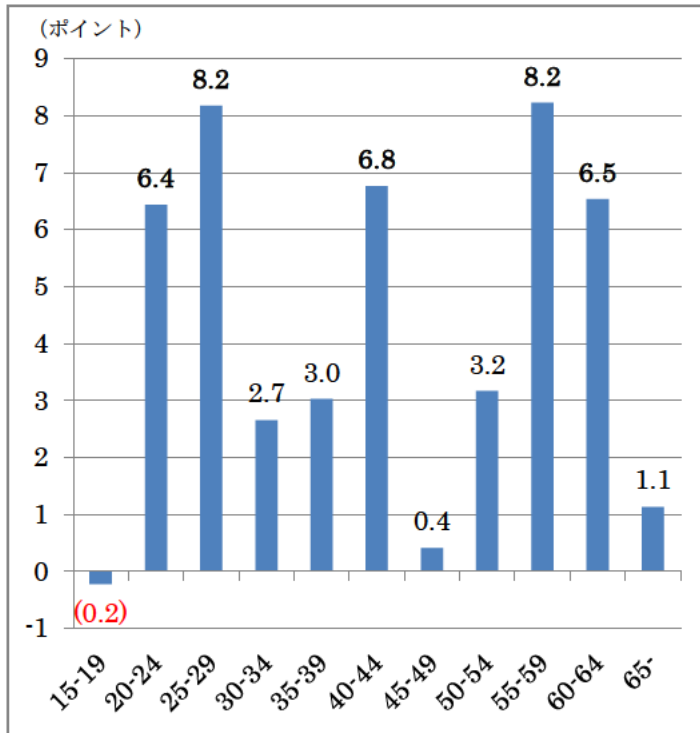
この 5 年間の伸び率を見ると、子育て前の 20～29 歳、子育てが一段落した 40～44 歳とその後の 55～64 歳で大きくなっています。【図 2】 なお、40～44 歳の伸びは、後述の 35～44 歳の女性雇用者が「育児休業等制度を利用した」ことが要因の一つと思われます。【図 8】

また、25～44 歳の女性の有業率も、全国平均を上回って推移しています。【図 3】

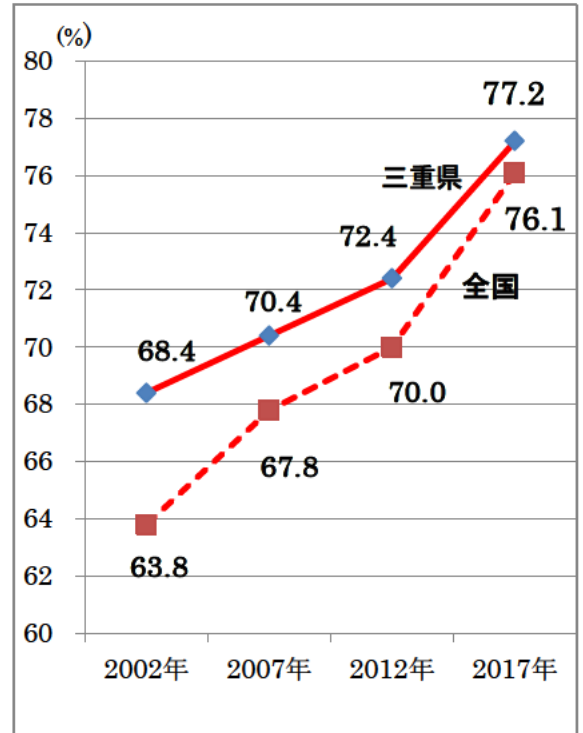
【図 1】 年齢階層別の有業率



【図2】女性の有業率の伸び率（2012→2017）



【図3】25～44歳女性の有業率の推移



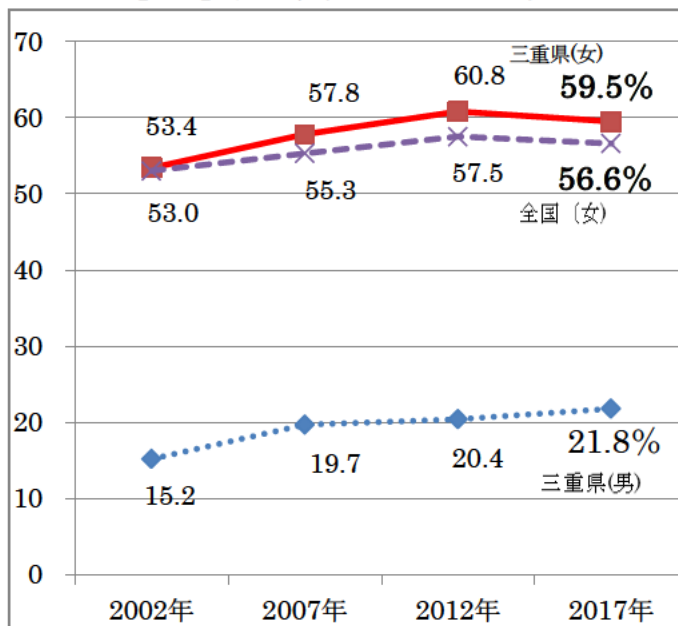
*有業者：ふだん収入を得ることを目的として仕事をしており、調査日以降もしていくことになっている者、及び仕事は持っているが、現在は休んでいる者。なお、家族従業者は、収入を得ていなくても、ふだんの状態として仕事をしていれば有業者としている。

(2) 非正規雇用の状況

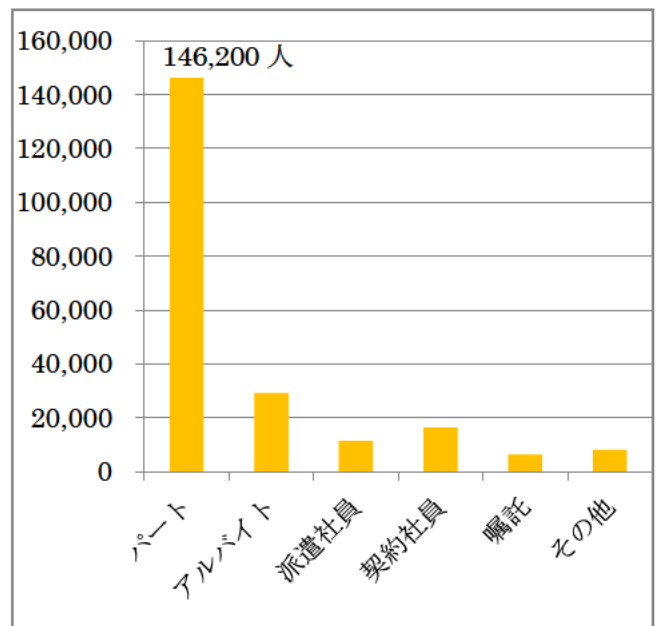
三重県の女性の非正規雇用者の割合は、やや減少に転じましたが、59.5%と全国平均を上回っています。【図4】また、パートが146,200人と最も多くなっています。【図5】

学生アルバイトの要因が薄れる25歳以上を年齢階層別に見ると、年齢とともに割合が高くなり、30～34歳で50%を超え、40～44歳では60%に上っていますが、5年前と比較すると、49歳までの幅広い年齢層で下がっているのが分かります。また、高齢者の有業率の伸びは、非正規雇用であることも分かります。【図6】

【図4】非正規雇用者の割合の推移

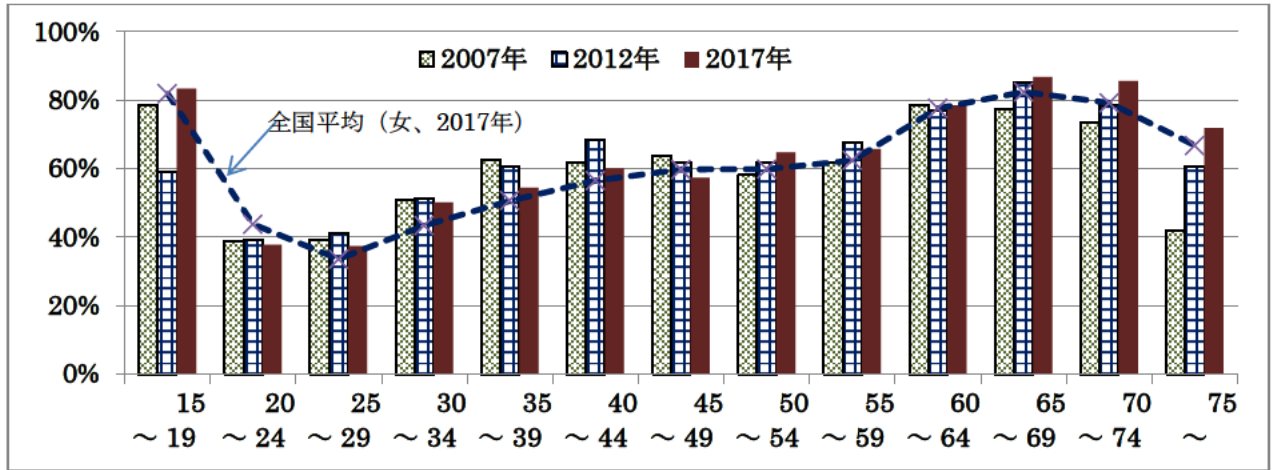


【図5】非正規種類別雇用者数（三重県(女)、2017年）



*会社等の役員を除く雇用者に対する割合

【図6】 三重県(女性)の年齢階層別非正規雇用者の割合



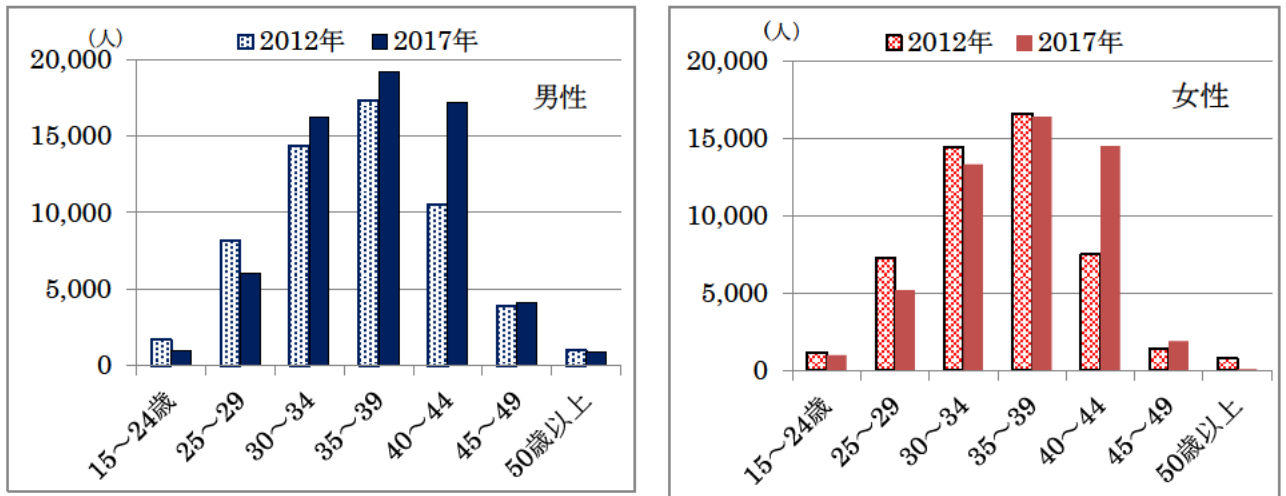
2 育児、高齢者介護と女性の就業

(1) 育児の状況

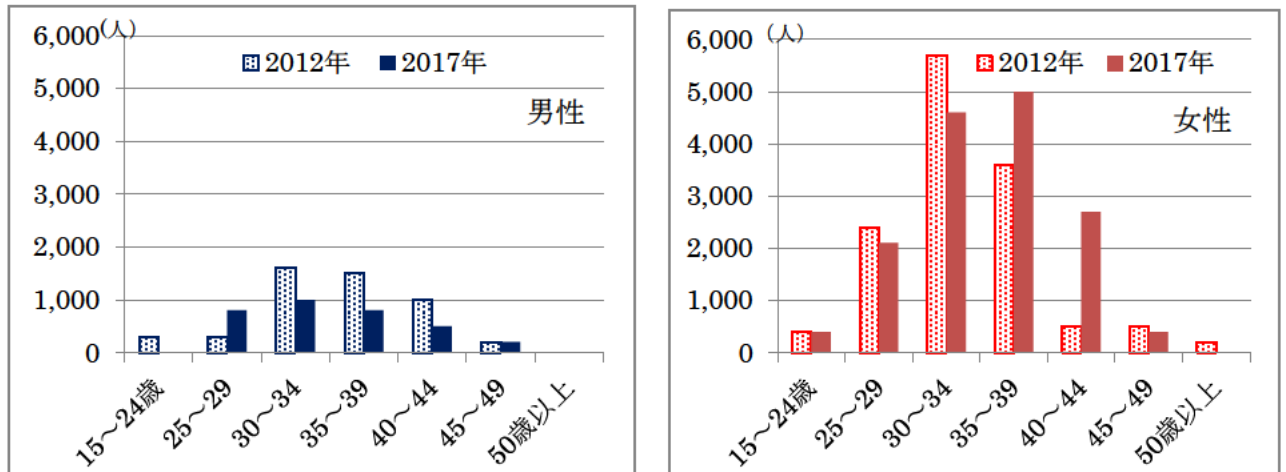
育児をしている県内雇用者（2017年）は117,000（男64,600、女52,400）人で、5年前と比べて、10,800（男7,600、女3,200）人増加しました。年齢階層別に見ると、男女とも35～39歳で最も多くなっています。また、40～44歳の増加幅が大きく、晩婚化で育児年齢が高くなってきているのが分かります。【図7】

また、育児休業等制度を利用した女性の雇用者も、40～44歳での上昇が目立ちます。【図8】

【図7】 育児をしている年齢階層別雇用者数の推移（三重県）



【図8】 育児休業等制度を利用した年齢階層別雇用者数の推移（三重県）

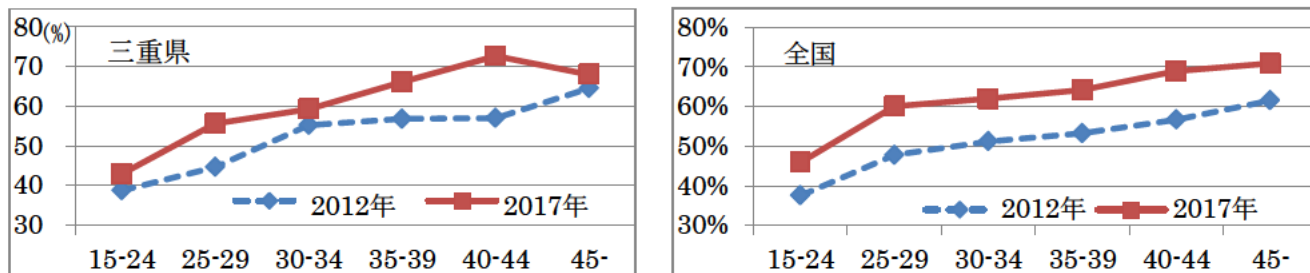


* 育児：小学校入学前の乳幼児。* 育児休業等制度：育児休業、短時間勤務、子の看護休暇、残業の免除・制限等

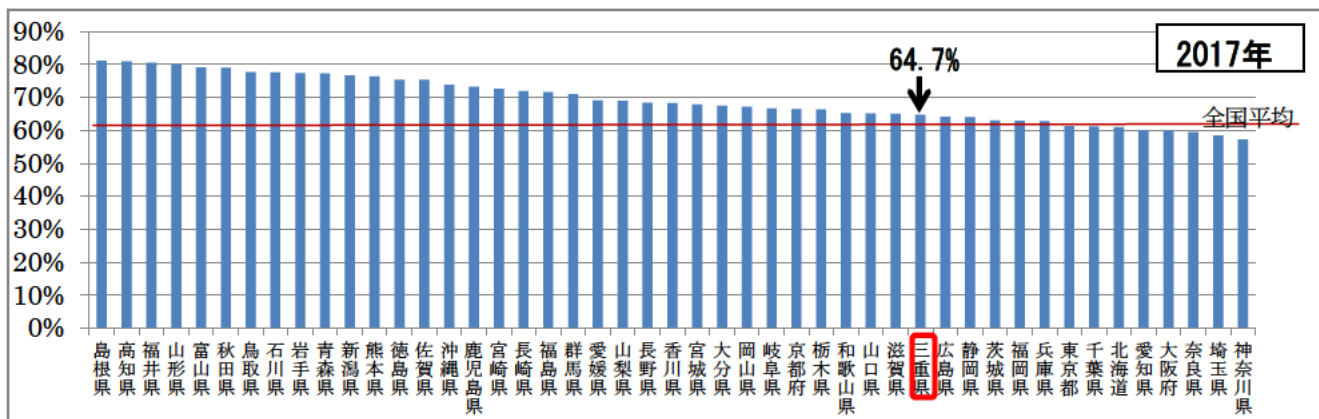
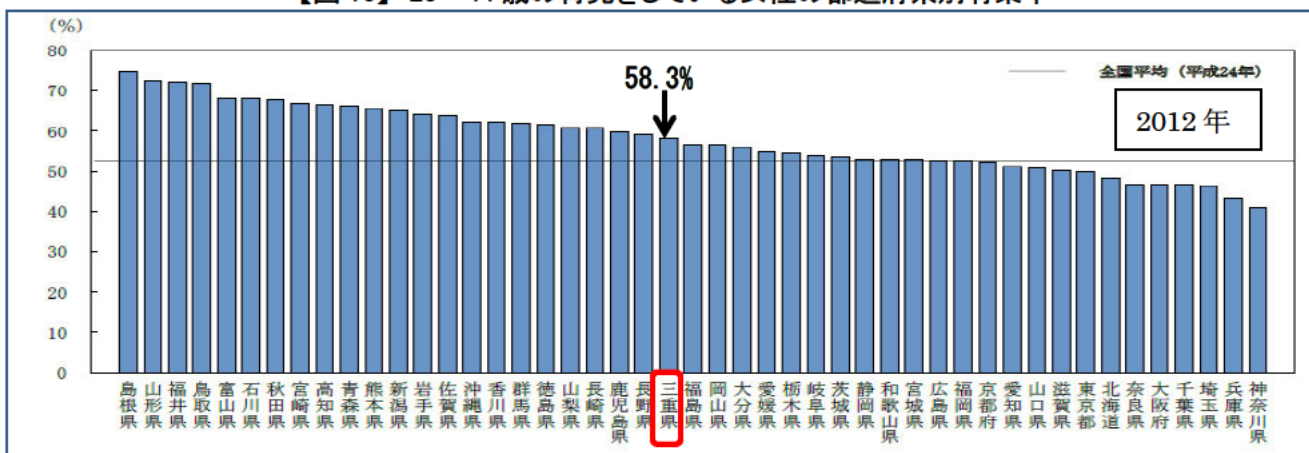
育児をしている三重県の女性の有業率を年齢階層別に見ると、5年前と比べて、全ての年齢層で上昇しており、これは、全国の動きと同様となっています。【図9】なお、25～44歳の育児をしている三重県の女性の有業率（2017年）は、64.7%（全国平均64.4%、34位）となっています。【図10】

また、県内で、2017年9月までの過去5年間に出産・育児を理由に前職を離職した人の年齢を見ると、25歳から34歳が最も多く、ほとんど女性となっています。【図15】

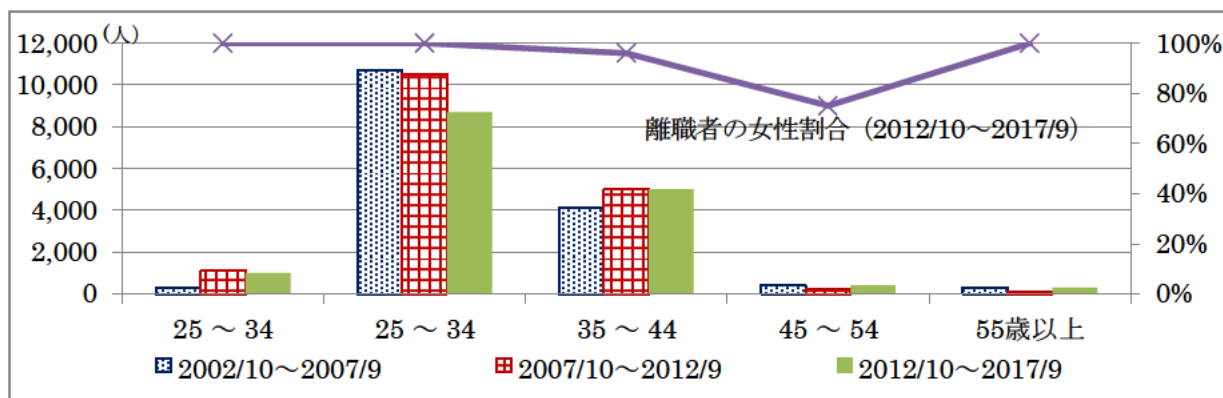
【図9】 育児をしている女性の年齢階層別有業率の推移



【図10】 25～44歳の育児をしている女性の都道府県別有業率



【図11】 三重県の出産・育児を理由とした離職者数の推移

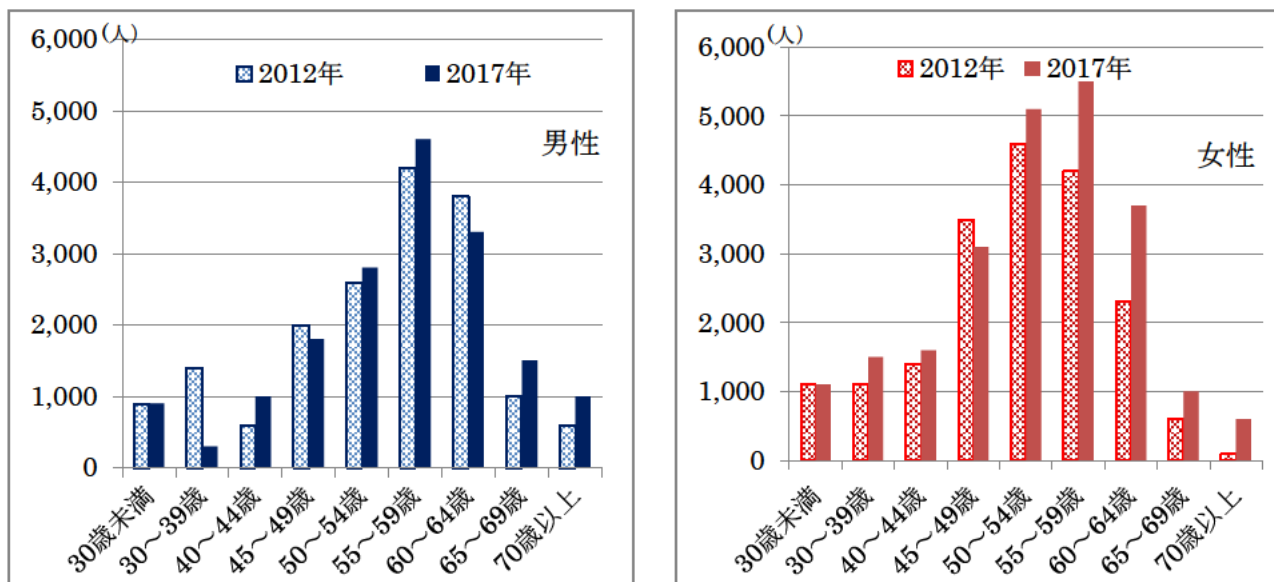


(2) 介護の状況

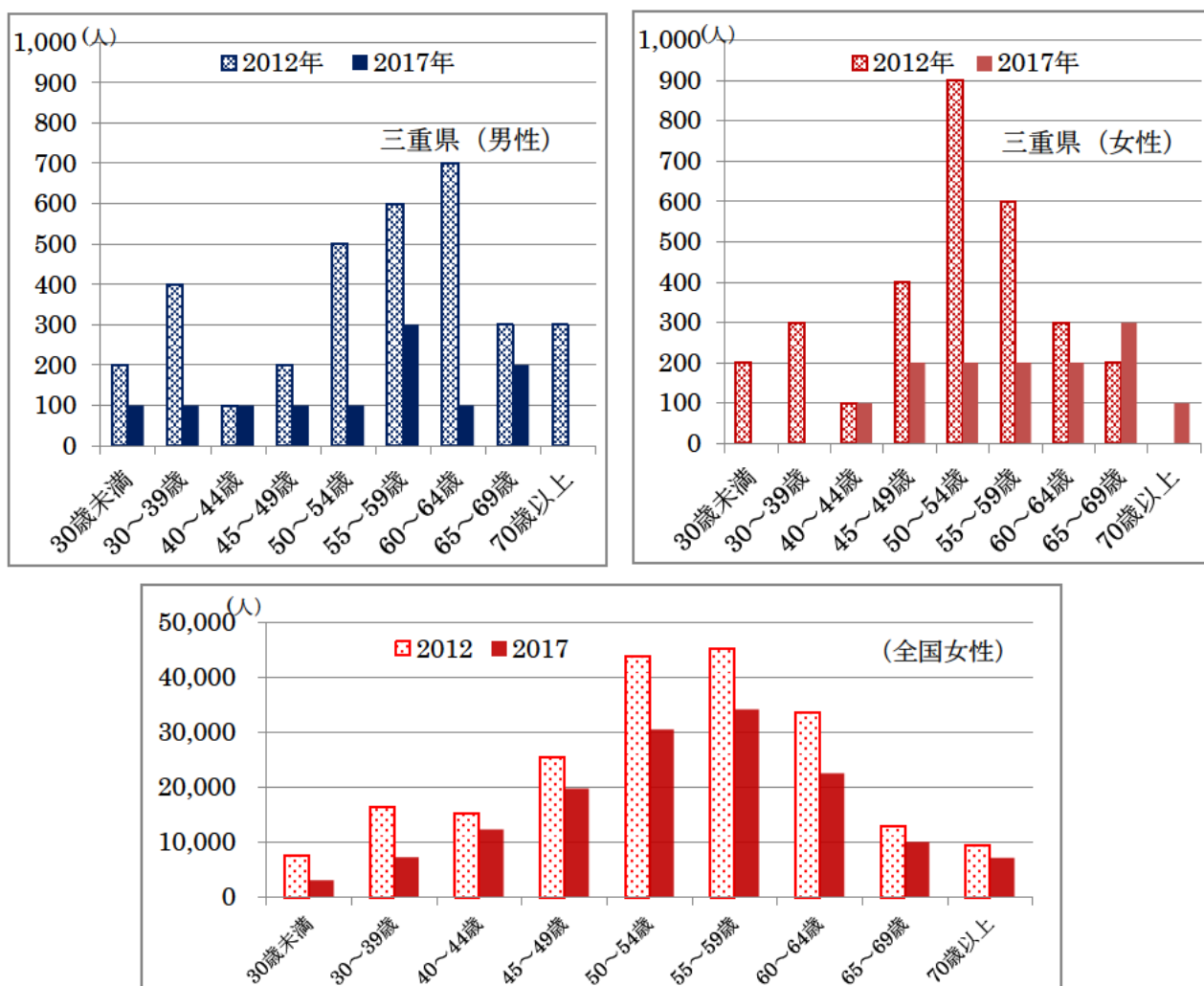
介護をしている県内雇用者（2017年）は40,400（男17,200、女23,200）人で、5年前と比べて、4,400（男100、女4,300）人増加しました。年齢階層別に見ると、男女とも55～59歳で最も多くなっています。また、女性は、幅広い年齢層で増加しているのが分かります。【図12】

また、逆に、介護休業等制度を利用した雇用者は、幅広い年齢層で減少しており、全国も同様となっています。【図13】

【図12】 介護をしている年齢階層別雇用者数の推移（三重県）



【図13】 介護休業等制度を利用した年齢階層別雇用者数の推移

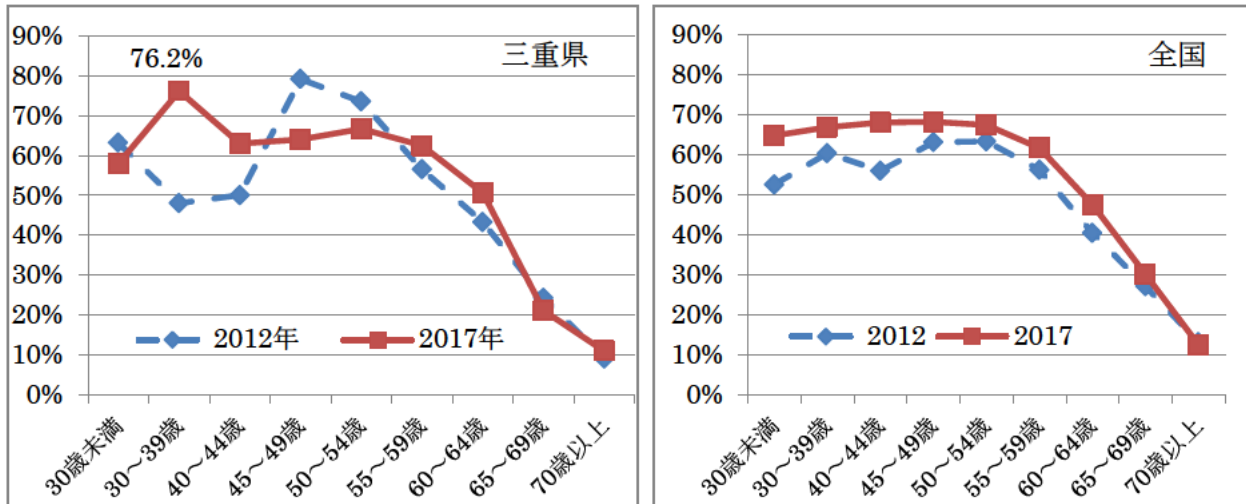


*介護休業等制度：介護休業、短時間勤務、介護休暇、残業の免除・制限等

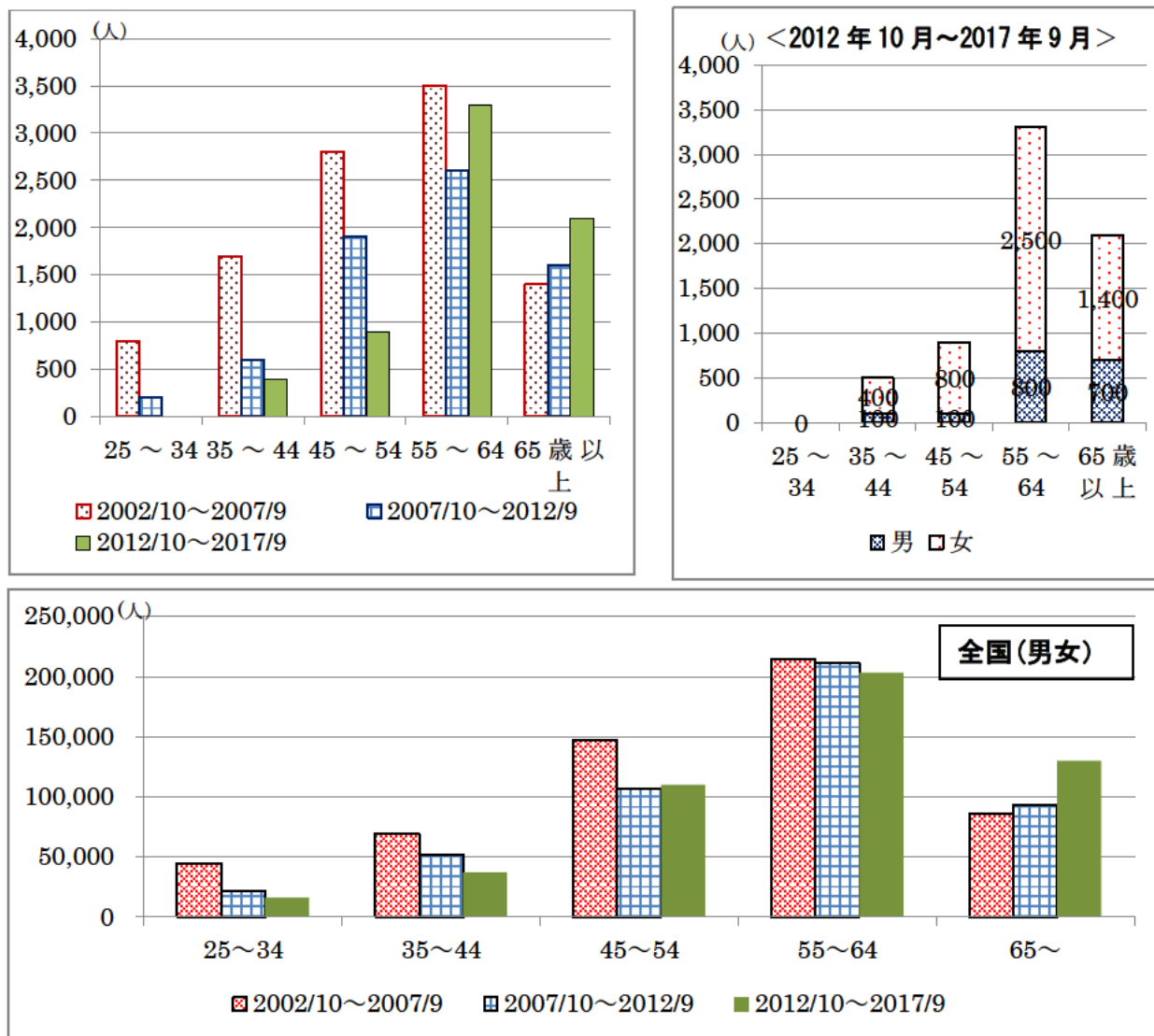
介護をしている三重県の女性の有業率を年齢階層別に見ると、5年前と比べ、30～39歳で大きく上昇しています。【図14】

また、県内で、介護・看護を理由に前職を離職した人(各年10月から翌年9月の1年間の周期調査基準時点の合計)の年齢を見ると、45歳から64歳にかけて多くなっています。2012年10月から2017年9月にかけての各1年間毎の合計では、55歳以上の男性の離職者数が増加しています。【図15】

【図14】 介護をしている女性の年齢階層別有業率の推移



【図15】 三重県の介護・看護を理由とした離職者数の推移



★就業構造基本調査

就業構造基本調査は、統計法に基づく基幹統計調査として、国民の就業及び不就業の状況を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的として5年ごとに実施しています。

平成 29（2017）年調査は、全国の約 52 万世帯（15 歳以上の世帯員約 108 万人）を対象に平成 29 年 10 月 1 日現在で実施されました。